



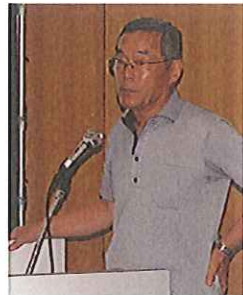
ふくせん公開事例検討会！ オヤノコト、エキスポ2011にて開催

去る7月16日(土)～17日(日)、東京国際フォーラムでオヤノコト、エキスポ2011が開催された。「親のこと」を考える子世代が、親に変わって必要な情報を集めたり、気持ちよく老いながら自分のライフスタイルを維持したりできるような提案をするためのイベントだ。ふくせんも、両日事例検討会を開催した。オヤノコト、エキスポで事例検討会を開催するのは、今年で3回目となる。

1日目 講師・市川 洌 先生

<事例>

- ・81歳男性、要介護2
- ・キーパーソン:妻
- ・内容:変形性脊椎症によるひどい腰痛。日中はベッドから離れて過ごせるように、必要な環境整備を行いたい。



市川 洌 先生

初日、「在宅復帰後の生活環境整備」をテーマに事例検討会を行ったのは市川洌先生(福祉技術研究所株式会社 代表)だ。事例提供者は前田収徳氏(株式会社ヤマシタコーポレーション)。発表者は湯脇稔氏(株式会社カクイックスウィング)、大山英樹氏(有限会社セイワメディカル)、久保田豪氏(株式会社ヤマシタコーポレーション)。

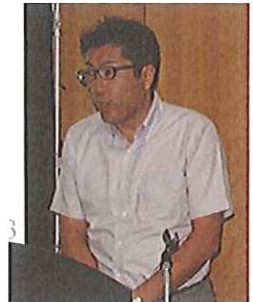
興味深いことに、同じ事例を扱っていても、各発表者によって福祉用具の導入方法は異なる。寝室の変更を提案したのは、湯脇氏と久保田氏。妻と同じ部屋にベッドを移し、安心・安全に暮らせるようにした。ベッドも、湯脇氏は移動時の手掛かりとなるようフレームの大きな機種を、久保田氏は腰痛で起き上がりに困難のあるご利用者を気遣い、背上げの角度等がリモコンの液晶に表示される機種を選定した。一方、「高齢になると部屋の変更には抵抗がある人が多い」と言うのは大山氏だった。実際に事例に立ち会った前田氏は、寝室を変更し、妻と隣り合って眠れる環境を整えたようだった。

市川先生は、「ひとつの事例を取り上げても、様々な提案ができる。ご利用者・ご家族と相談しながら決めていくことが大事」と締めくくった。

2日目 講師・金沢 善智 先生

<事例>

- ・75歳男性、要介護3
- ・キーパーソン:妻
- ・内容:脳梗塞による左半身麻痺と高次脳機能障害がある。起居動作支援や移動手段を検討したい。



金沢 善智 先生

2日目の講師は金沢善智先生(株式会社バリオン/介護環境研究所 所長)。「夫婦二人で安心して過ごせる環境整備」をテーマに行われた。事例提供者は住田秀孝氏(株式会社ヤマシタコーポレーション)。発表者は松崎理紗氏(マツザキマテリアル株式会社)、森谷剛実氏(株式会社エイゼット)、藤井健太郎氏(株式会社ホームケアサービス山口)。

この日も、各発表者から提案が行われた。「介護用のベッドは導入しない、ご自分のベッドでの生活」を提案したのは、松崎氏と森谷氏。残存能力を活かしたいとの思いだ。しかし異なる点も。松崎氏と違い、森谷氏は寝室の変更を提案した。一方藤井氏は、左半身が麻痺しているご利用者の状況を考慮し、背中左側を包み込む機能のついたベッドの導入を提案した。

印象的だったのは、3か月後に事例のご利用者を訪ねた住田氏の話だ。退院したご利用者は、リハビリを嫌がり下肢筋力が低下していたという。ところが、「自宅で浴槽につかりたい」という希望をかなえるためバスリフト(EWB-101)を導入したところ、入浴を行うためのリハビリ意欲がわいたとのことだった。金沢先生は、「病院にいと『家に帰りたい』という目標でリハビリを頑張るが、家に帰ると目標が失われてしまう。短期的な目標を示していくことが重要」と語った。

☆☆ 当日の様子 ☆☆

事例提供者、発表者としてご協力くださった福祉用具専門相談員の皆さんをご紹介します。



1日目事例提供者 前田 収徳 氏
(香川県・(株)ヤマシタコーポレーション)



1日目発表者 湯脇 稔 氏
(鹿児島県・(株)カクイックス ウイング)



1日目発表者 大山 英樹 氏
(千葉県・(有)セイワメディカル)



1日目発表者 久保田 豪 氏
(千葉県・(株)ヤマシタコーポレーション)



2日目事例提供者 住田 秀孝 氏
(愛知県・(株)ヤマシタコーポレーション)



2日目発表者 松崎 理紗 氏
(茨城県・マツザキマテリアル(株))



2日目発表者 森谷 剛実 氏
(千葉県・(株)エイゼット)



2日目発表者 藤井 健太郎 氏
(山口県・(株)ホームケアサービス山口)